



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

<人口>		
男	79,012	(-38)
女	83,295	(-45)
計	162,307	(-83)
<世帯数>		
	64,204	(-28)
3月1日現在()は前月比		

第1回市議会定例会が閉会

新年度予算などを可決

平成28年第1回市議会定例会が、3月2日から18日まで開かれました。

9日には、12人の議員から、市政全般についての一般質問が行われました。

最終日18日の本会議では、各担当委員会に付託されていた議案について委員長報告の後、平成28年度一般会計予算など46議案が原案どおり可決されました(平成28年度予算の詳細は、4～7面の特集に掲載)。

可決された主な議案は、次のとおりです。

▷平成28年度予算(21件)

一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、公共下水道事業会計、病院事業会計、水道事業会計など

▷平成27年度補正予算(4件)

一般会計(2件)、公共下水道事業会計、水道事業会計

▷条例制定(5件)

市議会の議決すべき事件を定める条例、消費生活センターの組織及び運営等に関する条例、公契約条例、行政不服審査会条例など

▷条例改正・廃止(14件)

情報公開条例等の一部改正、手数料徴収条例の一部改正、体育諸施設の設置等に関する条例の一部改正、国民健康保険条例の一部改正、家畜診療所設置条例等の廃止など

▷その他(2件)

新市まちづくり計画の変更など

4/6、15

春の全国交通安全運動

子どもと高齢者の交通事故防止

今年も、春の全国交通安全運動が「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本に、4月6日から15日まで、全国一斉に繰り広げられます。

<運動の重点>

- ・飲酒運転の根絶
- ・自転車の安全利用の推進
- ・後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

交通事故が1件でも減るよう、家庭や地域、学校、職場などで交通安全を呼び掛けあいましょう。



詳しくは、生活安全課(☎47-7386)へ

サポート 大垣暮らし



子育て世代の住宅取得支援を拡充

市内に新築住宅を取得し転入する子育て世代に対し、金融機関などで借り入れた費用の利子の一部を助成する「住宅取得支援事業」。4月1日から、すでに市内に居住している子育て世代が新築住宅を取得し転居する場合も対象となるよう、制度を拡充しました。

▷助成金額/各年度の利子支払額(上限10万円)を年1回交付(最大30万円)

少子高齢化により生産年齢人口が減少するなか、市は、定住人口の増加を図るため、大垣暮らしをする際の補助事業などを進めています。新年度からは、市内での転居も対象にするなど、子育て世代を中心に、さらなる制度の充実を進めていきます。

対象条件や補助要件など詳しくは、住宅課(☎47-8184)へ。

▷助成期間/3年間

中古住宅のリフォームを支援

市内で新たに中古住宅を取得し、自ら居住する子育て世代を対象に、その取得した中古住宅のリフォームにかかる費用の一部補助を新たにスタートします。※すでに居住している住宅は対象外

▷助成金額/リフォーム費用の10%(上限20万円)

市内転居も対象に

子育て世代の住宅取得支援

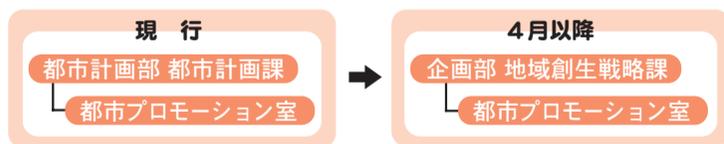
4月1日号 主な内容

- ▶市功労者表彰、軽自動車税のクレジット納付の開始、浸透性舗装補助制度の導入など...2～3P
- ▶平成28年度予算特集～羽ばたけ!おおがき育み予算～予算概要・主な事業など...4～7P
- ▶催し、講座、市民伝言板など...8～9P
- ▶健康ガイド...10～11P
- ▶花と緑のふれあい展、環境市民フェスティバル、元気ハツラツ市、2016大垣音楽祭...12P

4月1日～市役所の機構改革

▷都市プロモーション室を企画部へ

移住・定住を促進する都市プロモーション事業を全庁的に推進するため、都市プロモーション室を都市計画部から企画部へ所管替えします。



▷資源対策課をクリーンセンターに統合

一般廃棄物の処理計画やごみ処理券などの業務を所管する資源対策課をクリーンセンターに統合。また、環境衛生課所管のへい獣や残土の収集業務を同センターに移管し、業務の円滑化と収集体制の強化を図ります。



▷障がい福祉課を新設

多様化し増加する障がい者福祉に関する業務にきめ細かく対応するため、社会福祉課を改編し、「障がい福祉課」を新設します。

障がい福祉課では、障がい者福祉や発達支援などに関する業務を所管します。

